

H R V Master

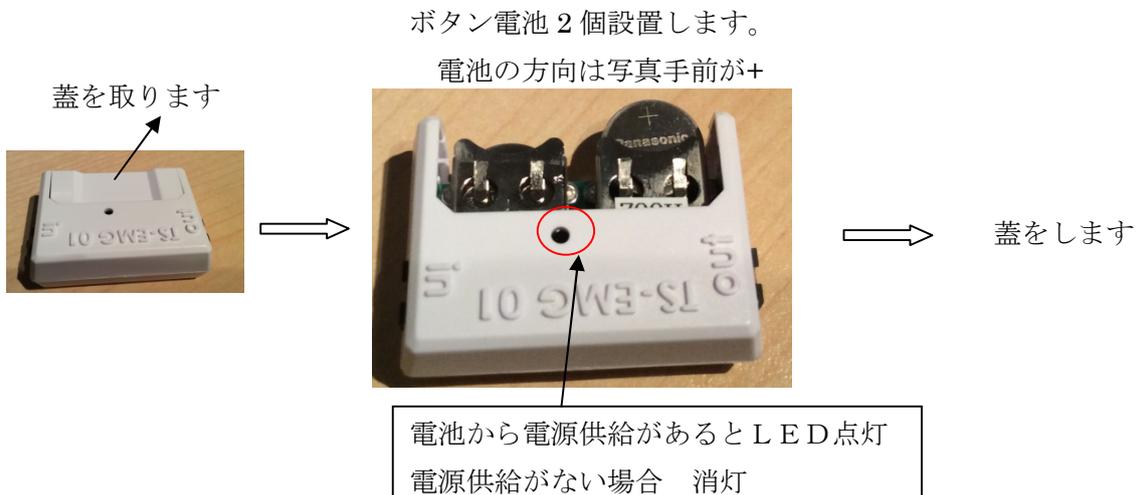
intercross-330

# 取扱説明書

インタークロス株式会社

# 機器の接続と生体への電極装着

## (1) 生体アンプに電池設置

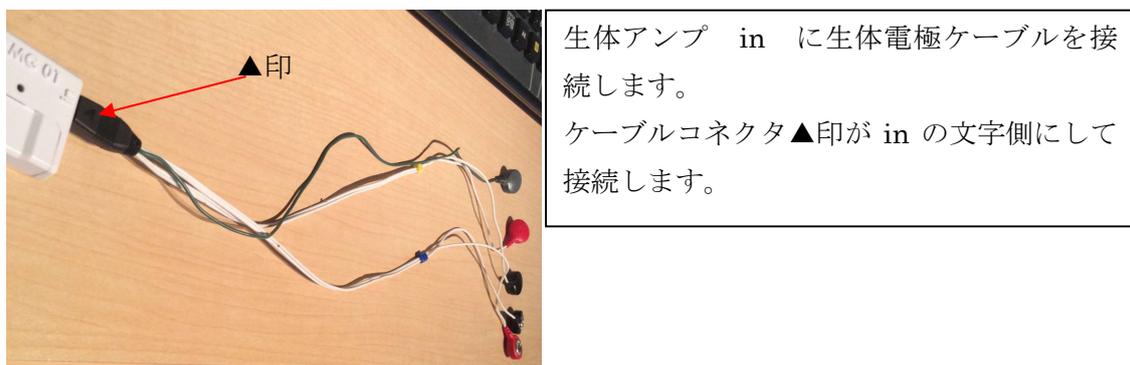


## (2) TSNDと生体アンプを接続

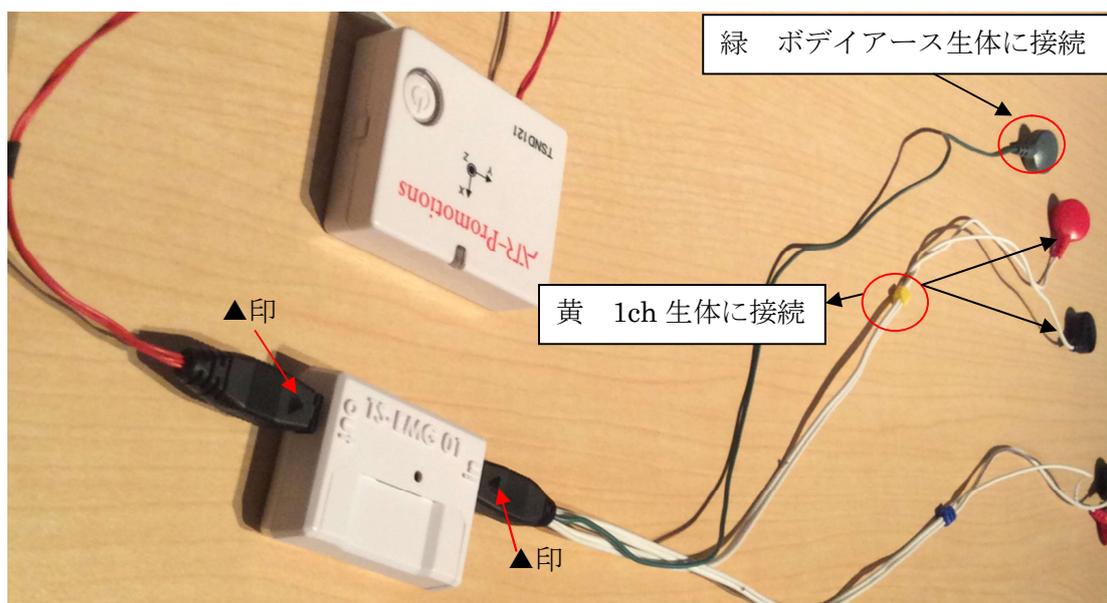


アナログ出力ケーブルの反対側を生体アンプ out 部分に差し込む  
コネクタ▲印が out 文字側の向きで押し込む。クリック感があるまで押し込みます。

## (3) 生体電極ケーブルを生体アンプに接続



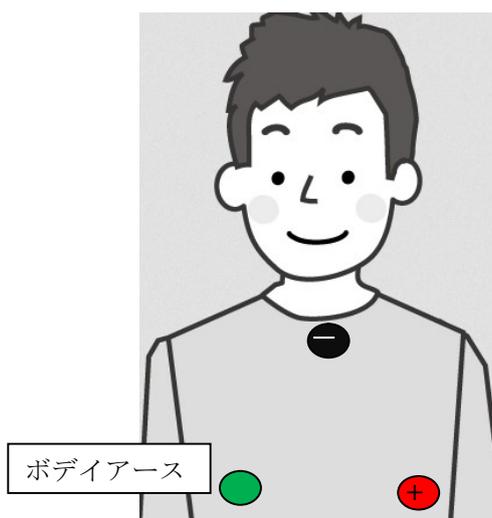
機器接続の全体は以下のようになります。



#### (4) 電極を生体に設置

電極設置位置

電極の設置位置一例を示します。

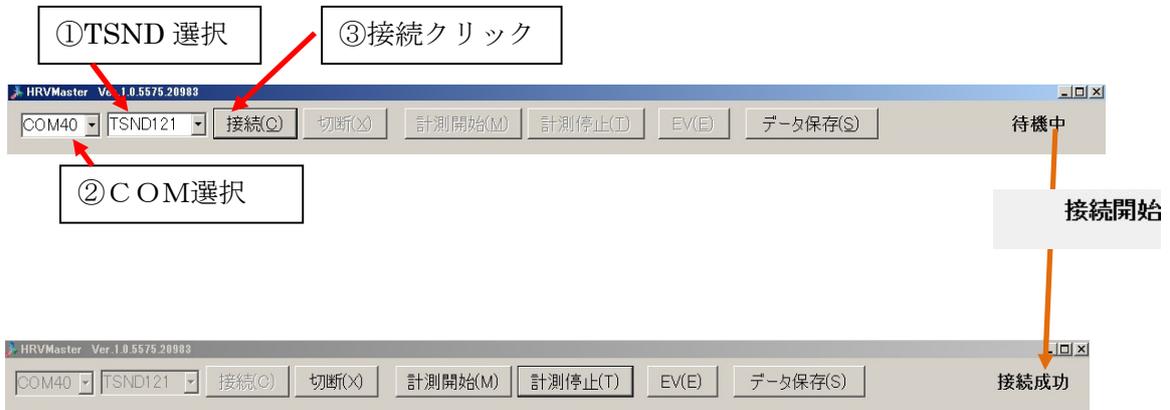


導出とリファレンス電極間に心臓があるように設置すれば R 波は検出できます。  
ボディアースはどこでも設置可能です。

# 計測

(1) ソフトウェア立ち上げ 画面表示されます。

デバイス設定 ①～③の順に操作



(2) 計測開始

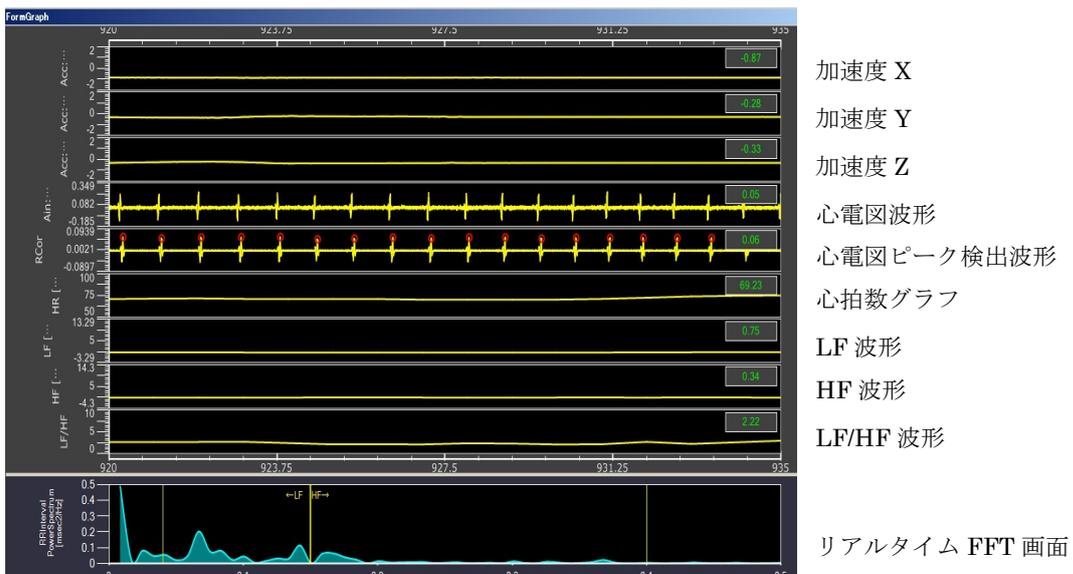


計測開始ボタンクリック

計測が始まり波形表示されます。

計測中EVEクリックで波形にイベントマーカを表示可能です。

画面説明



### (3) 計測停止



計測停止ボタンクリック

計測が終了します。

### (4) データ保存



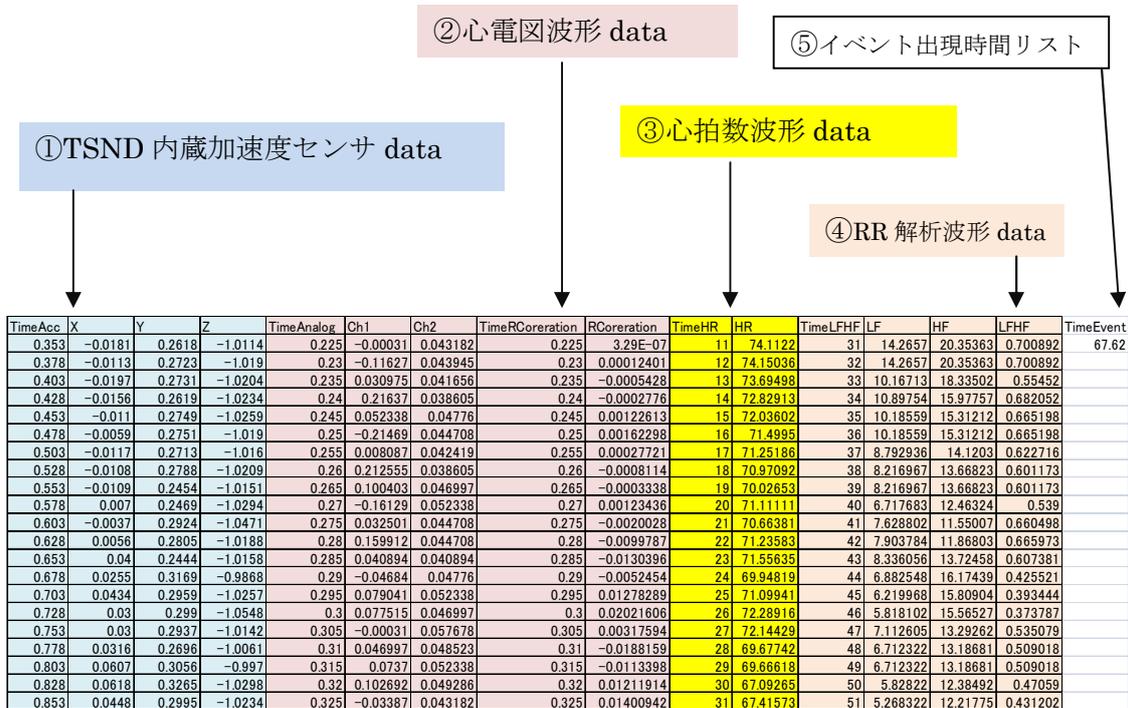
解析データを保存できます。

ここで保存しないと解析データが失われます。

本プログラムはオフラインで心電図波形から心拍変動解析する機能はないためデータ保存をしておくようにしてください。

## 保存テキストの説明

HRV Master は複数の時間軸データを複合した形でデータをテキスト化します。  
以下時間軸ごとにテキストファイルを色分けして表示します。



小型無線多機能センサ (TSND121)は(株)ATR-Promotions の製品です。  
生体アンプは(株)ATR-Promotions の製品です。

平成 27 年 作成

インタークロス株式会社